

2 年次前期・必修

1 単位・15 時間

【概要・目的】

本科目は、地域社会で生活している人々の健康の現状や課題を把握し、それらに影響を及ぼしている社会の諸要因を理解するとともに、疾病を予防し健康を増進する対策について考えることを目的とする。

【到達目標】

- 1) 公衆衛生の基本的な概念及び公衆衛生活動に関連した法令を理解する。
 - 2) 健康に関連した指標を理解し、国民の健康の現状と課題を考えることができる。
 - 3) 生活習慣病対策、健康増進対策、感染症対策、がん対策、難病対策、食品保健などの公衆衛生活動の現状を理解し、課題について考えることができる。
-

【内容・スケジュール】

- 1) 公衆衛生の概念、関係法令
 - 2) 健康に関連した指標
 - 3) 生活習慣病対策、健康増進対策（健康日本 21（第 2 次））
 - 4) がん対策
 - 5) 感染症対策（感染症法）
 - 6) 感染症対策（感染症の動向、新型コロナウイルス感染症）
 - 7) 感染症対策（H I V ・エイズ（A I D S）、結核、検疫、予防接種）
 - 8) 難病対策、食品保健
-

【評価】

筆記試験（90%）、出席状況および参加者態度など（10%）

【教科書】

使用しない。資料を配布する。

【推薦参考図書】

城 憲秀・宮下和久・武田眞太郎 共編著「エビデンスにもとづく公衆衛生学」培風館 2017
医療情報科学研究所 編「公衆衛生がみえる 2022-2023」メディックメディア 2022
一般財団法人厚生労働統計協会 編「国民衛生の動向」（最新版）

【その他】

連絡先：mokkunn@wakayama-med.ac.jp